

業務分析ワークシート

想定災害： ○○地方大地震(震度6強) 業務拠点： ○○大学○○キャンパス

想定リスク： 3～7日間の停電及び安全が確認できるまで建物の立ち入り禁止

主管業務部門 ※1	業務名 ※2	IT依存度	システム名 ※3	目標復旧レベル(暫定) ※4	目標暫定復旧時間 ※5	業務機能停止の影響 ※6	目標完全復旧時間 ※7	重点対象 ※8
	公式Web		公式Webサーバ	大学の存続、暫定継続計画、連絡先の提示		大学の存続についての誤解生じ、入学・卒業・単位取得・就職に関わるサービスの停止により学生の将来の可能性を閉ざす。		
	学内Web		学内Webサーバ	学内連絡、対応履歴保持		学内での災害対処状況などの連絡が滞り、効率の良い緊急対応が損なわれる。		
	法人Web		法人Webサーバ	学内連絡		学内での災害対処状況などの連絡が滞り、効率の良い緊急対応が損なわれる。		
	DNS		DNSシステム	大学保有ドメインの正常運用		Webやメールなど広報・通信手段が停止し、大学の対応状況を告知する手段が失われる。		
	安否確認		安否確認システム	学生・教職員の安否確認		学生・教職員の安否確認が遅れ、緊急対応計画の発動を阻害する。また、最優先である学生の生命保護活動に遅延を生じる。		
	メール(教職員)		教職員電子メールシステム	大学保有ドメインのメール環境の暫定利用		通信手段が停止し、大学の対応状況を告知する手段が失われる。また、教育・研究活動の遅延を生じる。		
	メール(学生)		学生電子メールシステム	大学保有ドメインのメール環境の暫定利用		通信手段が停止し、大学の対応状況を告知する手段が失われる。また、教育・研究活動の遅延を生じる。		
	認証		認証サーバ	大学保有ITシステムへのアクセス許可		各種ITサービスへのアクセスが不可能となり、効率の良い緊急対応が損なわれる。		
	学習支援システム		学習支援システム	授業開始時に教材提示・課題提出機能を提供		教材提示・課題提出など教育支援の基本機能が失われ、カリキュラム進捗に遅延を生じる。		
	教材提供		教材データベース	授業開始時に教材活用機能を提供		教材活用という教育上の基本機能が失われ、カリキュラム進捗に遅延を生じる。		
	インターネット接続		WAN	インターネット接続		DNS、Webやメールなど広報・情報収集・通信手段が停止し、大学の緊急対応に遅延を生じる。		
	学内LAN		学内ネットワーク	学内基幹LAN復旧		各種ITサービスへのアクセスが不可能となり、効率の良い緊急対応が損なわれる。		
	無線LAN		無線LAN	学内一部エリア復旧		各種ITサービスへのアクセスが不可能となり、効率の良い緊急対応が損なわれる。また、近隣の住民へのインフラサービスが不可能となる。		
	研究成果公開		研究成果公開データベース	論文・作品など研究成果の公開		研究成果の公開に遅延を生じ、大学の国際競争力の低下を招く。		
	学籍管理		学籍管理システム	卒業生・在校生の学籍保証・管理		卒業生・在校生の学籍保証・管理に支障を来し、教育機関としての基本的なサービスを失う。		
	成績管理		成績管理システム	在校生の成績保証・管理		在校生の成績保証・管理に支障を来し、教育機関としての基本的なサービスを失う。		
	証明書発行		証明書発行システム	卒業生・在校生の各種証明書の発行		卒業生・在校生の成績証明書・卒業証明書の発行に支障を来し、教育機関としての社会的責任が果たせない。		
	学生指導情報		学生指導履歴システム	学生指導履歴の閲覧		被災学生の心のケアなどの対応に遅延を生じる。		
	就職支援		就職支援システム	求人情報の収集・提示		企業側の募集も激減が予想される中、大学としての基本的なサービスの1つである就職支援に遅延が生じる。		
	学内会計		経理システム	学内会計処理		学内会計処理の遅延を生じる。		
	備品情報管理		備品データベース	学内備品データ管理		学内備品管理に支障を来す。		
	事務局ファイル共有		事務局ファイルサーバ	事務局内ファイル共有		事務局間のファイル共有に支障を来す。		
	事務局スケジュール管理		グループウェア	事務局スケジュール管理		事務局間のスケジュール管理に支障を来す。		

↑↑
A: IT無しでは不可能
B: 手作業で一部代替可
C: 手作業で対応可

※【ワークシート項目の説明】

※1 主管業務部門	当該ITシステムを管理運用する部署・部門の名称
※2 業務名	当該ITシステムを活用した業務の名称
※3 システム名	当該ITシステムの名称
※4 目標復旧レベル(暫定)	業務として暫定的に最低限復旧するレベル。ITシステムは復旧せずに手動で業務遂行することも仮定して良い。
※5 目標暫定復旧時間	(手作業も含めて)暫定的に業務を再開するまでの目標時間
※6 業務機能停止の影響	業務機能が停止した場合の影響を具体的に記載
※7 目標完全復旧時間	当該ITシステムの目標復旧時間
※8 重点対象	重点的に復旧するべきITシステムに○印を記載 また、特に二重化が必要なものは◎印を記載